令和３年１０月２９日開会

議会運営委員会会議録

鳥取県西部広域行政管理組合議会

議 会 運 営 委 員 会 会 議 録

～～～～～～～～～～～～

日　　程

日　時　令和３年１０月２９日（金）
午後２時００分開会
場　所　米子市淀江支所 第３会議室

１　開　　会
２　委員長の互選について
３　閉　　会

～～～～～～～～～～～～

出 席 委 員 （ ５名 ）

委員長　今城　雅子　　副委員長　米本　隆記
委　員　戸田　隆次　　委　員　足田　法行
委　員　山本　芳昭

～～～～～～～～～～～～

欠 席 委 員 （ ０名 ）

～～～～～～～～～～～～

出 席 議 員 （ ２名 ）

議　長　岩﨑　康朗　　副議長　森岡　俊夫

～～～～～～～～～～～～

当 局 出 席 者

事務局長　三上　洋　事務局総務課長　生田　公志

～～～～～～～～～～～

事 務 局 の 職 員

書 記 長　　針田　智子　　書　　記　　近 藤　　隆

～～～～～～～～～～～

○ 臨時委員長の選出

○岩﨑議長　本日は、大変お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。本日の議会運営委員会は、議会閉会中の９月１日の委員改選後、初めての委員会であります。正副委員長ともに空席であることから、組合議会委員会条例第８条第１項の規定により、議長として招集いたしました。委員長が互選されるまでの間、臨時委員長は組合議会委員会条例第８条第２項の規定により、年長の委員である戸田委員にお願いしたいと思います。それでは戸田委員、よろしくお願いします。

～～～～～～～～～～～

１ 開　　会

（午後２時０１分　開会）

○戸田臨時委員長　失礼いたします。ただいま御指名をいただきました、米子市選出の戸田でございます。よろしくお願いいたします。委員長が互選されるまでの間、年長委員である私が臨時委員長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは、これより議会運営委員会を開会いたします。

～～～～～～～～～～～

２ 委員長の互選

○戸田臨時委員長　それでは早速ではございますが、日程２、委員長の互選に入りたいと思います。まず、委員長の互選について、担当から説明をお願いいたします。

○針田書記長　はい。

○戸田臨時委員長　針田書記長。

○針田書記長　組合議会委員会条例第７条第２項により、正副委員長は委員会において互選すると規定されておりまして、過去の例で申し上げますと、委員長はこれまで米子市議会選出の委員が務めてきておられま

す。以上でございます。

○戸田臨時委員長　ただいま、担当から、委員長は米子市議会選出の委員が務めてこられた経緯があるとの報告がありました。引き続き米子市議会選出の委員を御推選いただくということで御異議ございませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○戸田臨時委員長　はい、ありがとうございます。御異議がないようですので、どなたか委員長を御推選いただきたいと思います。

○足田委員　はい。

○戸田臨時委員長　足田委員。

○足田委員　今城委員を推選したいと思います。

○戸田臨時委員長　ただいま、委員長に今城委員を推選する旨の声がありましたが、今城委員を委員長の当選人とすることに御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

○戸田臨時委員長　御異議がないようですので、今城委員を委員長の当選人とすることに決しました。委員長が決定いたしましたので、進行を委員長と交代いたします。御協力いただき、ありがとうございました。それでは今城委員長、委員長席へお願いします。

○今城委員長　それでは、一言御挨拶をさせていただきます。ただいま、議会運営委員長を拝命いたしました今城雅子でございます。どうぞよろしくお願いいたします。当議会は、西部圏域住民の皆様の負託に応えるべく設置されております。また、この議会運営委員会でも継続案件もございます。円滑なる議会の運営、また議事の運営に努めてまいりたいと決意しておりますので、皆様の御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

○岩﨑議長　今城委員長、一言よろしいでしょうか。

○今城委員長　はい、岩﨑議長。

○岩﨑議長　ただいま委員長が決定いたしましたので、先日、管理者から依頼のありました、地方自治法第１８０条第１項の規定による軽易な事項の変更及び追加について、議会運営委員会に諮問いたしたいと思います。よろしくお願いします。

○今城委員長　はい、それでは承りましたので。それでは、当初の予定ではここで閉会ということではございますが、引き続き協議を行いたいと思います。議長、それでよろしいでしょうか。

○岩﨑議長　はい、結構です。

○今城委員長　それでは、担当に本日の日程等を配らせます。それでは、

この後の日程についてでございますが、御覧いただいておりますとおり、副委員長の互選について、先ほど議長から当委員会宛てに諮問のありました、地方自治法第１８０条第１項の規定による軽易な事項の変更及び追加について、及び、組合議会会議規則の改正について、というふうに進めたいと思います。

～～～～～～～～～～～

追加日程１　副委員長の互選

○今城委員長　それでは、日程１、副委員長の互選を行いたいと思います。副委員長の互選について、担当から説明をお願いいたします。

○針田書記長　はい。

○今城委員長　針田書記長。

○針田書記長　過去の例で申し上げますと、副委員長は町村議会選出の委員が務めてきておられます。以上でございます。

○今城委員長　ただいま、担当から、副委員長は町村議会選出の委員が務めてこられた経緯があるとの報告がございました。引き続き町村議会選出の委員を御推選いただくということで御異議ございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○今城委員長　御異議なしということですので、どなたか副委員長を御推選いただきたいと思います。

○山本委員　委員長。

○今城委員長　山本委員。

○山本委員　米本委員を推選いたします。

○今城委員長　ただいま、米本委員を副委員長にという推選がございましたが、御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

○今城委員長　御異議がないということですので、米本委員に副委員長を務めていただきたいと思います。米本副委員長、御挨拶をお願いいたします。

○米本副委員長　推選いただきました米本です。委員長を補佐し、議事運営に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

～～～～～～～～～～～

追加日程２　地方自治法第１８０条第１項の規定による軽易な事項の変更及び追加について

○今城委員長　それでは、次に日程２、地方自治法第１８０条第１項の規定による軽易な事項の変更及び追加についてを議題としたいと思います。当局から説明を求めます。

○生田総務課長　委員長。

○今城委員長　生田総務課長。

○生田総務課長　それでは、先ほど、議長さんのほうから諮問をしていただきました、地方自治法第１８０条第１項の規定による軽易な事項の変更及び追加についてを説明させていただきます。まず、この件につきましては、令和３年９月２４日付で管理者のほうから議長さんのほうへ御依頼を申し上げたところでございます。資料のほう１枚おはぐりいただきまして、内容の説明をさせていただきます。１番の、専決処分をすることができる事項についての変更及び追加をお願いする事項といたしましては、全部で３点ございます。まず１点目でございますが、地方自治法第９６条第１項第１３号の規定によります損害賠償につきまして、管理者が専決処分することができる事項を、現行の、３０万円以内のものから、１００万円以内のものに変更していただくというもの。２点目が、条例におきまして引用しております法令の制定、改正または廃止に伴い、当該法令の題名、条項もしくは用語または当該法令に基づく法人、機関等の名称を専決処分により改正することを追加していただくこと。３点目が、議会の議決を経て締結をいたしました工事または製造の請負契約に係ります契約金額の変更につきまして、その額が１，５００万円以下の変更契約を締結することについては、専決処分をすることができる事項に追加していただきますとともに、１，５００万円とは、変更に係る金額の合計額であることを御確認いただきたいというものでございます。それぞれの理由につきまして御説明を申し上げます。ペーパーの下のほうの、理由を御覧ください。まず１番目の事項の理由でございますが、段落の二つ目でございます。損害賠償に係る相手方との調整を速やかに進めていくこと、及び県内の他団体におきましては７０万円から１００万円としている例が多いということでございますので、損害賠償でその額が３０万円以内のものにつきまして、損害賠償でその額が１００万円以内のものとするよう、議会の委任による専決処分の事項を変更をお願いしたいと思います。続きまして、おはぐりいただきまして（２）番の理由でございます。法令の制定、改正または廃止に伴いまして、当該法令の題名、条項もしくは用語のほか、当該法令を根拠にして設置をされます法人、機関等の名称が改められることがございますが、当該改められる法令の題名、条項もしくは用語または当該法令に基づく法人、機関等の名称を条例に引用している場合には、当該条例につきまして、

その名称の整理を本組合の政策的な判断を関与させるまでもなく、必然的かつ事務的に行わなければならないと考えます。したがいまして、これらの事項につきましては、議会の委任による専決処分の対象として追加をしていただきたいと考えます。続きまして、３点目でございます。理由のほう、このペーパーの一番下になりますが、議会の議決を経て締結をいたしました工事または製造の請負契約につきましては、契約金額を変更する場合には、現在は金額の多寡にかかわらず議会の議決が必要となっております。工事現場の状況等によりまして設計変更を行う必要が生じるたびに、議会の議決を経るまで公共工事の進行を中断させることになりますと、中断期間中の資材、人員の保全等に余分な経費の負担、また、工期の確保が困難になる等の問題を生じさせる可能性が多大になると考えております。公共工事の円滑な進捗に資するために、契約金額の変更額、増減の額が１，５００万円以下の変更契約の締結は、議会の委任による専決処分の対象に追加していただきたいと考えます。また、１，５００万円につきましては、変更契約１回当たりの限度額を示すものであるのか、数度の変更契約が行われる場合において、専決処分により締結することができる変更契約の限度額を示すものであるのかにつきまして、複数回の変更契約の積み重ねの結果、その変更が増額であれ減額であれ、また、これらが組み合わされる場合であれ、変更契約により変動する金額の合計が１，５００万円を超えることは想定されます。この場合に、１回当たりの変更金額が１，５００万円以下であったとしても、その合計額が１，５００万円を超えるようであれば、もはや軽易な変更とは言えないものと考えます。そもそも、本来は議会の議決事項である変更契約の締結について、軽易な変更に限り専決処分をすることができる、としていただいた趣旨をゆるがせにするおそれもございます。したがいまして、専決処分により変更契約を締結することができるとするその金額は、契約金額の変更に係る金額の合計が１，５００万円を超えない範囲である、ということを併せて御確認いただき、適切な事務執行を図りたいと考えております。おはぐりいただきまして、新旧対照表がセットされていると思いますが、新旧対照表といたしましては、右側が改正前、左側が改正後でございます。改正前は、損害賠償の額３０万円という規定のみでございますが、この部分を改正後は第１項としまして、３０万円を１００万円に変更するようお願いしたいと考えております。そして２項と３項に、先ほど御説明をいたしました事項を２点追加という形でお願いしたいと考えております。おはぐりいただきまして、専決処分事項の変更に係ります実績等のまとめた資料を添付をさせていただいております。一つ目が、損害賠償に係る和解、調停、その金額と

いうことでございます。平成２８年度以降のものを掲載させていただいております。内容につきましては記載のとおりでございますので、御確認をお願いいたします。おはぐりいただきまして、２点目の、引用に係る条例の改正でございます。こちらも過去に事例がございまして、平成２５年度と令和元年度に、消防局のほうで所管しております火災予防条例の関係で法律の改正があった。それによる条文の整理が必要となった事案がございました。３点目でございます。変更契約の関係でございますが、まず１番目に、議決を経て締結した工事または製造の請負契約でございますが、これも平成２８年度以降、二つの事例がございます。１点目は、皆生出張所の移転建築主体工事。２点目が、桜の苑改修建築主体工事でございます。それぞれ変更契約はございませんでしたが、２番目に記載しておりますが、今後、組合では様々な工事を予定しております。令和４年度以降、大山消防署の改修工事から始まりまして、ごみ処理施設の関係の建設工事もございます。このような状況であるということを御確認いただきたいと思います。最後に、おはぐりいただきまして、他団体の状況でございます。米子市と東部広域と中部ふるさと広域連合、そして鳥取県の事例を記載させていただいております。各団体とも様々なお考えがあろうかと思いますが、損害賠償の額につきましては、米子市と東部広域と同じ額でございます。条例の改正につきましては、米子市、それから中部ふるさと広域連合、そして鳥取県が同じような内容となってございます。また、変更契約につきましては、鳥取県にも規定はございますが、これはこのたびお願いしております金額よりも高く２，５００万円でございますが、米子市が１，５００万円ということで、米子市と同じ内容でございます。結果といたしまして、全ての項目とも米子市と同じ内容とさせていただきたいというお願いでございます。説明は以上でございます。

○今城委員長　当局の説明が終わりました。委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。

○山本委員　委員長。

○今城委員長　山本委員。

○山本委員　契約の１，５００万円の件ですけれど、最初に１，０００万円例えば変更しますよということで、１，５００万円以下なら専決でいきますけど、その後に、例えばまた１，０００万変更する必要が出てきたというときには、議決の必要があるという理解でよろしいでしょうか。

○生田総務課長　委員長。

○今城委員長　生田総務課長。

○生田総務課長　ただいま、委員のほうから御質問がございました、１，０００万円を２回に分けての増額、あるいは増減があった場合。これは、おっしゃいますとおり、１回目は１，０００万円で１，５００万円以内という形にはなりますが、次の１，０００万円を加えますと、合計で２，０００万円変動したということでございます。これが増額であろうと減額であろうとも、１，５００万円を超えるという判断でございます。

○山本委員　委員長。

○今城委員長　山本委員。

○山本委員　金額については、どういう金額で議会にかけられるのかということになります。最初の１，０００万を合わせて増減が２，０００万円だから議決をということになるんでしょうか。

○今城委員長　生田総務課長。

○生田総務課長　議案としてどのような出方かということでございますが、これは変更契約をどの時点でしているのかということにもちょっとなろうかと思います。いずれにしましても、当初の金額が幾らかはちょっと別としまして、まあ２億なら２億ということで議決をいただいておりましたら、そこからは２，０００万円動いたということでの議案という格好になろうかと思います。そういう説明になろうかと思います。

○米本委員　ちょっといいですか。

○今城委員長　米本委員。

○米本委員　事業継続をしながらのことで、追加の増額ということですよね。最初に専決でやりました。で、後から出ましたから、その元の専決した分をまとめて議案として出しますということになるんですかねえ。今言われたのは。

○今城委員長　生田総務課長。

○生田総務課長　先ほどの件ですが、１，０００万円は、例えば一度専決という形で変更契約そのものは成立しますけれども、これは契約金額の変更という形の議案でございますので。契約金額の変更といいますと、例えば、先ほど申し上げましたように２億円で１回議決をいただく。２億１，０００万円は専決となりますが、次の１，０００万円は２億２，０００万円ということで、ここも１回１回は１，５００万以内なんですけれども、最終的に２億２，０００万円の契約金額となるということの議決を頂戴するということになります。２回の変更であったとしてもです。そのような形で考えております。

○今城委員長　いかがでしょう。いいですか。

○米本委員　いいです。

○戸田委員　委員長。

○今城委員長　戸田委員。

○戸田委員　この地方自治法は、いつ改正になったんですか。

（「どの部分？」と声あり）

地方自治法の１８０条の事項のうち、まあ次のとおり指定するということなんだけど。まあ先ほどから１項、２項、３項で説明があったんだけれども。この地方自治法上の中では条文もきちっと整備して、そのまま当てはめるということではなくて、１項、２項、３項は独立規定で定めるという考え方でいいんですか。それを米子市の内容を充当させたという説明ではなかったかと思うんだけど。

○今城委員長　生田総務課長。

○生田総務課長　このたびのお願いは地方自治法の改正によるものではございませんで。もともと地方自治法１８０条第１項は、あらかじめ議会の議決を経て、専決処分ができるという規定でございまして。この議会でのあらかじめの議決をこのたび変更していただくということでございます。したがいまして、地方自治法は改正があったわけではございません。

○戸田委員　委員長。

○今城委員長　戸田委員。

○戸田委員　これも内容について、米子市議会でも説明があったんだけれども。まあ、これは大分前にあったんだがんね。実態がもうそれへ移行されておるんですけれども。西部広域としてはその辺の状況をどのように判断されて、今回このように整備しようとしたのか。それともう一つが、ごみ処理施設でいろいろ実態を挿入されて、こういう実態があるので、これからそういうふうな変更契約も示唆されるから、この条文を整備したいという考え方なんでしょうけども。その辺の時期っていうのはね、私がこだわるのは、米子市ちょっとそういうふうな状況で、米子市がそういうふうに整備されたのであれば、即座に西部広域もそういうふうな対応をすべきだったのではないかと私は思うんですけど。その辺の見解はどうなんですか。

○今城委員長　生田総務課長。

○生田総務課長　議決を頂戴する時期ということでございまして、委員御指摘のとおり、私の記憶では米子市さんが平成２９年度ではなかったかと思いますが、変更されておられました。このときに、確かにおっしゃるとおりタイミングを合わせるということもございましたが、現在はごみ処理施設の事務が進んでおりまして、スケジュールも基本構想をまとめまして、明らかにさせていただいたということで。今後これらの大きな事業が動くということと、それから資料のほうにも記載しておりま

すが、消防局のほうの署所、建物ですね。これを順次改修をしていくということの予定のほうも議会のほうに説明をさせていただきましたので、このタイミングを捉えてお願いをしたということでございます。

○三上事務局長　よろしいでしょうか。すみません、重ねてちょっと御答弁を。

○今城委員長　三上事務局長。

○三上事務局長　今、戸田委員さんのほうからお話がありました件でございますけども。御趣旨といたしましては、米子市が改正されたのであれば、西部広域は米子市を例としておるんで、それに倣って同じような時期に遅れることなく改正する必要があったのではないかという御意見かというふうに思います。それで、実はおっしゃるとおりの対応をすべきだというふうに私も考えておりまして。今回、この改正に至る前の本組合の改正状況等もちょっと確認させていただいたところなんですけども。実はこの改正前の議決でございますけども、一番最初に議決をいただいたのが昭和５２年でございました。その後、昭和６２年に１回だけ改正がしてございまして、その後は全く改正がしてないまま今日に至っているというような中で、私どももこの間、行政事務に携わります中でですね、そういう米子市との違いといいますのが分かってきたというような中でですね、時期を捉えて改正をやっぱりお願いをする必要があるだろうということで、今回こういう形になったわけでございますけども。今後につきましてはですね、やはり社会情勢等を踏まえた上での、こういう専決の内容の変更ということでございますので、今後はやはり米子市の改正に合わせてですね、米子市の改正があれば遅れることなく、やはり改正をすべきということが、やはりこれは行政事務に関わってくる。効率的な行政事務の運営につながってくるというものでございますんで、今後はそういうような考え方でさせていただけたらというふうに考えております。よろしくお願いいたします。

○戸田委員　委員長。

○今城委員長　戸田委員。

○戸田委員　私も最後、そういうふうな答弁が出たので、また追及はいたしませんけれども。やはり、そういうふうな事案が想定されるから、前もってそういうものを手当てをしていくんだという考え方ではなくて、やはりそういう懸念があるのなら、類似団体のところがそういうふうな、今おっしゃったように改正していくなら、即座にそういうふうな対応をこれは求められておる。これが地方公共団体の在り方ではないかと私は思いますので、それは要望しておきたいというふうに思います。

○三上事務局長　はい、ありがとうございます。

○今城委員長　すみません、一つ確認を。先ほど生田総務課長、増減に関わらず１，５００万を超えたときにというお話だったと思います。理論上でいいますと、１，０００万円増額があり１，０００万円減額があった場合などは、元の契約と同じ金額になりますが、その場合でも当然議決をするという、議決案件として行うという判断でよろしいですね。はい、生田総務課長。

○生田総務課長　まあ、理論上ということではございますが、恐らく現実的にはちょっと起こりにくい事案かなと思います。それで、理論上は増減があったわけですけれども、全く同じ額となった場合には契約金額そのものは変更にはならないということになりますんで、ちょっとその事例は、申し訳ございません。確認をしておりませんので、ちょっとまた確認をさせていただきます。

○今城委員長　はい。では、よろしくお願いします。でもね、１，０００万が超えてまた戻ったということの、どう言えばいいんですかね、動きというのは契約上全く見えなくなってきますのでね。その辺のところの、どういう扱いをするかということは確認をきちっとしていただきたいと思います。よろしくお願いしますね。はい、生田総務課長。

○生田総務課長　はい、分かりました。すみません。１，０００万円増となって減となる場合は、少なくとも２回契約変更等があったということになりますが、まあ、たまたま工事内容が変わりますので、その契約金額が逆になるということでありますから。増減それぞれの要因がございますが、その辺りもちょっと含めまして、どこまでが議決の範囲かということにもなろうかと思います。その辺りも含めまして確認のほうをさせていただき、また御回答させていただきますので、よろしくお願いします。

○今城委員長　はい、お願いします。

○足田委員　はい。

○今城委員長　足田委員。

○足田委員　この１，５００万円というのは、大体おおむねこういう金額で妥当なんですかね。ほかの自治体と比べて。

○今城委員長　生田総務課長。

○生田総務課長　この変更契約の金額でございますが、そもそも議決が必要な額が１億５，０００万円ということで、その変更幅が１０パーセントということで。まあ、ここまででであれば、軽微という判断ができるのではないかというふうに思っておりますし、また、例としております米子市のほうも、その金額で議会の議決をいただいておられますので、私どもといたしましては、このラインでいいのではないかというふうに

考えています。

○足田委員　はい、いいです。

○今城委員長　ほかにはございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○今城委員長　それでは、この件については一度お持ち帰りいただきまして、御検討願って、次回の議会運営委員会のほうで御相談をさせていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。議会があるのは１１月２５日ということになりますので、次回の委員会１１月２５日ということで、この件はお持ち帰りいただきたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○今城委員長　それでは、ここで日程３に入りますが。日程３については議員の協議となりますので、当局の皆さんは退席をお願いいたします。

〔当局退席〕

～～～～～～～～～～～

追加日程３　組合議会会議規則の改正について

○今城委員長　それでは、次に日程３、組合議会会議規則の改正についてを議題としたいと思います。前回、議会運営委員会で確認事項として皆様に御協議いただきまして、１１月２５日に議員発議として、この組合議会会議規則の改正ということで御協議いただきました。前回の決定いただきました各項目等、全体の規則との整合性を取るために全体規則見直しをさせまして準備をさせましたところ、何点か皆様に再検討をしていただかなければならないなという点がございました。全文を見直すというような準備をさせております。このことについて、今日は急でしたがお集まりいただきまして、再検討していただくということにさせていただきましたので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、今後のスケジュールをはじめ内容の詳細について、担当からの説明をさせます。

○針田書記長　はい。

○今城委員長　針田書記長。

○針田書記長　それでは組合議会会議規則の改正につきまして、これまでの経緯も含めまして御説明をさせていただきます。資料は一枚もの、組合議会会議規則の改正について、というのを御覧いただきますようお願いいたします。まず、今、委員長からもお話がございました、これまでの経緯でございますが、５月３１日に議会運営委員会で、議会会議規

則の見直しが必要であるということを御確認いただきました。次に、８月１０日の議会運営委員会におきまして、必要最低限の規則について、１１月定例会に議員発議により提案をいただくということを確認いただきました。これが現行規則の第２条、欠席の届出の改正と、委員会を欠席する際の届出に係る規定の追加ということでございます。この際に、現行規則第５５条の適用につきまして､米子市議会会議規則の例による、という部分の取扱いが曖昧になっているというような御指摘を受けまして、改めてこのたび精査をさせていただいたものでございます。で、その精査の結果といいますのを資料にまとめております。ホチキス留めの３部でございますが、現行規則と米子市議会会議規則の比較、それから組合議会会議規則改正案（全部改正)、組合議会会議規則改正案（一部改正)。それを３種類、それぞれ御用意させていただいております。お手元にございますでしょうか。

（「はい」と声あり）

そういたしますと、まず現在の状況ということでございます。現行規則と米子市議会会議規則の比較というものを御覧ください。３列に分かれた表になっておりまして、一番左側が現行の組合議会会議規則でございます。真ん中と右側が米子市議会会議規則でございますが、真ん中に記載しておりますものは、現行の５５条の規定によりまして、例とするものとされている規定でございます。右側は米子市の規則ですが、組合に独自規定がございますので、米子の規則は読んでいない部分ということでございます。で、これを現行の取扱いといたしましては、一番左側の部分と、中央の米子市議会会議規則としては左側の部分。全体として左側と真ん中の２列を使って議会運営を行っているというところでございます。で、この点が精査をした結果で判明したことでございますが、米子市の例にはよらない、独自に定めていると言いながら、組合で米子市の規則と同じものを規定している部分というのがございます｡それから、真ん中に記載してあります、米子市の例によると言いながら例によっていない部分というものもございました。その辺りを精査して、改めて今回御協議いただきたいということで御用意させていただきましたのが、先ほどの全部改正、一部改正でございます。本日の協議事項の、改正方針の決定ということでございますが、今回担当として、全部改正、一部改正、二つの案を御用意させていただいております。まず、全部改正のほうでございますが、これは別添資料、全部改正のほうでございますけれども、現行の、米子市規則の例によるという規定をしております５５条を排除いたしまして、米子市規則を例としまして現状に即した規定を新たな形で整備しようというものでございます。一番左側の改正案とい

うところに、若干ちょっと御覧いただきづらいとは思いますが、太字になっている部分。これが新たに、今まで例によったり、定まっていなかった部分を改めようとするものでございます。一番最初は、２条の、欠席の届出、というところが太字になっているかと思いますが、これは先般御確認いただきまして、部分改正であっても改めるべき、というふうな御指摘を受けた部分でございます。はぐっていただきまして、しばらくは左側、あまり字体に変化がない部分がございますが、これは今までどおりのものでございます。めくっていただきまして、４ページ。左側の、定足数に関する措置、という辺りが太字になっているかと思いますが、その辺りから、これまでは、米子市の例による、となっていたものを、組合独自で定めようという形で案を御用意させていただいたものでございます。ずっとめくっていただきますと、太字がどんどん増えているというふうなことが御理解いただけると思います。今、項目一つずつは、ちょっとこの件に関しては御説明は割愛させていただきます。続きまして、案の２、一部改正でございます。左肩に、一部改正と書いてあるほうの資料を御覧ください。こちらは現行規則５５条の、米子市規則の例による、というものを最大限生かすという形で、必要事項について独自規定を制定するというということで改めたものでございます。最初に御説明をいたしました、独自規定と言いながら米子市規則と全く同じ規定である、そういうものは抜きまして、同じものは米子市の例によるという取扱いをしたものでございます。こちら左側を御覧いただきますと、ずっと今度は真っ白になってきているということが御理解いただけると思います。最終ページを御覧いただきますと、４８ページでございます。補則といたしまして、第６条、この規則に定めるもののほか必要な事項は米子市議会会議規則の例による、という記載を書かせていただいております。これが従来５５条だったものが６条になってしまうというものでございますので、こちらの一部改正ということになりますと、組合議会の会議規則というものは非常に中身のないものになってしまいます。実際の運用といたしましては、組合議会会議規則と米子市議会会議規則、常に両方持っていただいて、その比較検討をしながら進めていただくというような部分がございますので、担当としては、どちらかといえば全部改正を御検討いただいたほうがいいのかなあということを思いながら、一応資料を作らせていただいたところでございます。まず、方針決定につきまして御協議いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○今城委員長　担当からの説明は終わりました。前回、委員会のときにも、単独の行政体として、きちっとしたものが必要ではないかという御

意見も、委員の皆様からも頂戴していたところでございます。ただし、現状の組合会議規則に５５条というものがあって、それを運用していっているということも踏まえ、この辺りを考慮していただいて前回御協議いただいていたというのがこれまでの経緯でございます。その形を取って精査させましたところ、先ほど針田書記長からも説明がありましたとおり、一部改正の全てが６条で収まってしまう形に結局なってしまうんだということが、今回精査したところで判明したところでございます。そのような状況を、報告を受けまして、やはり皆様から御意見頂戴しましたとおり、今後のこともございますし、きちんとした形の組合の会議規則を定めていく。そして、その上で、今後改正等が行われるときには速やかに行うということが、やはりきちんとした組合の会議を運営していく上で必要なことではないのかなというふうに私も考えたところでございますので、今日、皆様に御協議をいただきたいというふうに思っております。まず、今説明がありましたとおり、改正方針ということで、案として出しております全部改正、もしくは一部改正か、ということについての御確認をお願いしたいと思います。ただいま説明ございましたとおり、全部改正、一部改正という案が出ておりますが、皆様の御意見を頂戴したいと思います。

○山本委員　じゃあ、委員長。

○今城委員長　山本委員。

○山本委員　８月の委員会ではですね、私も米子市の５５条の規定があるからというふうに理解をしとったんですが、ただいま説明をしていただいて。先ほどもありました１，５００万円の米子市の条例が変わったときに、こちらはまだ改正してなかったと。５５条で準用すると言いながら、できてなかったということもあるので、やはり全部、案のとおり全部改正でやったほうがいいというふうに考えます。

○今城委員長　はい、ありがとうございました。ほかには。皆様、御意見をどうぞ。

○戸田委員　委員長。

○今城委員長　はい、戸田委員。

○戸田委員　私、西部広域の職員だったんですけれども、皆さんも御案内のとおり、この西部広域の中で大きな廃棄物処理施設の整備ということがこれから出てきます。そうした中で、住民からやはり西部広域の議会の機能がきちっと果たしておられるかどうか、というような御意見も先般いただきました。そういうふうな観点からいけば、やはり先ほど山本委員さんがおっしゃったように、委員長もおっしゃったように、これからは西部広域の議会というのは本当に住民からも直視されていくんだ

ろうなあと。そういうふうな観点からいけば、やはり全部改正をして、西部広域独自の規則をきちっと整備をして、円滑に事務を進めていくんだというようなスタンスを私たちは持たなければいけないというふうに思っております。そういうことを鑑みれば、全部改正をして独自規定も包含したもので、できれば１１月の定例議会に委員長から提案をしていただく、というようなスケジュールで私はいきたいなというふうに考えております。以上です。

○今城委員長　米本委員さん。

○米本委員　私も、全部改正のほうが実際には西部広域としては機能するんじゃないかなというふうに思います。やはり、これから住民の皆さんからのいろいろな見られる目というものがありますし、機能することが一番だというふうに思いますので、私も全部改正が必要ではないかなというふうに考えています。

○今城委員長　はい、ありがとうございました。足田委員さん。

○足田委員　これから人口減少して、やっぱり広域でやる行政というのは、これから増えていくんじゃないかと。そうなったとき、やっぱりしっかり独自のそういった規則を設けないといけないのではないかと。やっぱり議会でありますので、組合として自治体それぞれ規則があるわけですから、しっかり皆さんが言われたとおりに、改めて全部改正して必要な部分はどんどん改正していけばいいと思います。全部改正がいいと思います。

○今城委員長　はい、承知いたしました。皆様、御意見が全部改正ということで一致しておりますので、では、全部改正というところでこれから進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。本日の御協議についての２点目ですけれども、米子市の規則を例とした場合において、独自規則が必要であると思われる事項が数点上がってきております。その部分について、これから御検討いただきたいと思います。御確認いただきたいと思いますので、担当から説明をさせます。

○針田書記長　はい。

○今城委員長　針田書記長。

○針田書記長　では、引き続きまして、独自規定が必要であると思われる項目についてということで説明をさせていただきます。資料ですが、先ほど御覧いただきました、全部改正と書いてあるものと、５ページもの、３枚のものでございますが、左肩に、独自規定が必要であると思われる項目についての規定案、この二つを使って御説明させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。まず、薄いほうの表の説明でございますが、一番左端が米子市規則の該当条項。これは、全部改正

案における掲載ページも記載いたしております。真ん中が、今回検討をお願いするに当たりまして、仮に案として御用意をさせていただいたものでございます。右側は、その案を考えるに至りました根拠、理由、そういったものを書いております。まず、全部改正の１ページでございますが､真ん中のところにちょっと薄い色になっております｡これは現在、案として提案させていただいた中には抜けている、これから御協議いただいて方向を決めていただくというふうになっているものでございますが、第３条、宿所又は連絡所の届出ということでございます。これは案として規定しないということを考えております。理由でございますが、議長に対する届出といいますのは、組合議会はそれぞれ所属市町村議会議長から、選出議員の異動もしくは宿所の変更といった届出は頂戴いたしますので、それぞれの個々の議員さんから直接、組合議会の議長に対して届出をする必要はないのではないかという判断の下に案をつくらせていただいたものでございます。１点目は以上でございます。

○今城委員長　まず、１点目でございます。全てをしますと、ちょっと長いですし、一つ一つ検討させていただいて決めさせていただきたいと思いますので、よろしいですかね。

〔「はい」と声あり〕

○今城委員長　そうしますと、１点目。今説明いただきました、宿所又は連絡所の届出についてということでございます。これは先ほど説明がありましたとおり、必要ないのではないかということで、規定しないというふうに案を考えておりますが、いかがでしょうか。御意見をいただきたいと思います。

○山本委員　はい、委員長。

○今城委員長　山本委員。

○山本委員　先ほど説明をしていただいた根拠が正しいと思いますので、必要ないと思います。

○今城委員長　はい、承知しました。ほかに皆さん御意見ございませんでしょうか。

〔「必要なし」と声あり〕

○今城委員長　では、そのようにさせていただきたいと思います。それでは２点目をお願いします。針田書記長。

○針田書記長　続きまして、では全部改正の３ページを御覧ください。会議時間、米子市でいいますと第９条の規定でございます。現在、会議時間を午前１０時から午後５時までとする、というふうに定められております｡これは､組合議会として今回御用意させていただきました案は、午後１時から午後５時までという形にさせていただいております。理由

でございますが、議会運営委員会の申合せによりまして、組合議会は午後１時からとする、ということになっております。現行米子市の規定を例としておりますので、１０時からというところを、米子市の２項、議長は必要があると認めたときは、会議時間を変更することができる。こちらを適用させるという形で午後１時からということにさせていただいておりましたけれども、議運の申合せがある以上、組合規則としては午後１時からというふうに規定するのがふさわしいのではないかということで考えさせていただきました。続きまして、２項と３項でございますが、これは会議時間の変更、それから休憩中に会議時間が過ぎたときの取り扱いにつきまして、必要に応じ会議時間を変更することができるよう､米子市規則に準じて規定する案を御用意させていただいております。次に、米子市の第４項、会議の開始は、号鈴で報ずるということでございますが、これは、議場に参集していない者に対する周知を目的としたものであるということで､今回､全部改正で､これは以前の規定からで、今回改めるわけではございませんが、組合の会議規則では第１条において、議場に参集することとしております。そのことをもちまして、規定をする必要はないのではないかということで、規定しないという案を御用意させていただいております。以上でございます。

○今城委員長　この項目につきまして説明をいただきました。皆様の御意見を伺いたいと思います。何かございますでしょうか。

○山本委員　委員長。

○今城委員長　はい、山本委員。

○山本委員　すみません。以前の議会運営委員会の申合せによるということですが、その１時からとした理由というのは、どういう理由から申合わせができたのか、教えていただければと思いますが。

○針田書記長　いいですか。

○今城委員長　針田書記長。

○針田書記長　今、なぜ１時からになったかという御質問でございますが、この件に関しまして、以前、組合議会は午後２時からという規定でございました。定例会、まあ臨時会もですが、休憩中に常任委員会、総務消防常任委員会と民生環境常任委員会を同時開催をするという形がございましたので午後２時からということでしたが、その後、議員の皆様から、同時開催だと、もう片方の、自分が所属していない委員会の協議を参考にすることができないというので、単独開催がよいのではないかという御意見を賜りまして、委員会が常任委員会の単独開催という方向になったところでございます。そういたしますと、２時からの開会で委員会を二つ、まあもちろん委員会のボリュームはその時々によって違い

ますけれども、５時までに終わらないということが起きてくる可能性がございますので、それなら開会を１時からという形にすればいいのではないかという申合せをいただいたというところでございます。以上です。

○山本委員　はい、分かりました。

○今城委員長　ほかにはよろしいでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○今城委員長　一つ、書記長、確認をさせていただきたいと思いますが。これ、本会議という意味での会議時間ということでの１時招集という形であるのですけれども、これに伴いまして定例会のとき等は、あっ、ほかのときもですかね。議会運営委員会を３０分前に開催させていただいておりまして。この件については、この会議規則に関してはよろしいですか。ごめんなさい。私、今ちょっと気がついちゃいまして。

○針田書記長　はい。

○今城委員長　針田書記長。

○針田書記長　会議時間というのは、基本的には本会議という、そういう確認をしておりますので。その前に議運を開催いただくことには問題はないと考えております。

○今城委員長　はい、承知いたしました。そういたしましたら、皆様から、他に御意見、質疑ないということですので。これも、この会議時間の件、それから号鈴で報ずるというところも、規定しないというところで進めさせていただいてよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○今城委員長　はい。では、そのようにお願いいたします。続きまして、分科会又は小委員会の件についてです。担当の説明をお願いします。針田書記長。

○針田書記長　では、全部改正の資料２２ページを御覧ください。現行の米子市規則第７１条でございます。分科会又は小委員会ということですが、これらは規定しないという案を御用意させていただいております。理由につきましては、全議員が委員となっております予算審査特別委員会について、分科会又は小委員会の設置ということは想定されますけれども、これも議運の申合せによりまして、分科会を設置しないというふうにされておりますことから、規定しないという案で御用意させていただいております。次の、連合審査会のほうでございますが、関連がありますので続けて説明をさせていただきます。連合審査会につきましては、可能性として特別委員会と常任委員会の連合審査会を開く必要があるということも想定されますので、必要に応じて連合審査会を開くことができるよう、米子市規則に準じて規定するという案を御用意させていただ

いております。以上でございます。

○今城委員長　説明は終わりました。委員の皆様から御意見、質疑がありましたら、どうぞお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

○今城委員長　これでよろしいですか。それでは、このようにさせていただきたいと思います。続きまして、資格決定の要求についての関連のところをお願いいたします。針田書記長。

○針田書記長　続きまして、４１ページを御覧ください。米子市規則でいうところの１０７条、資格決定の要求でございます。こちらにつきましては、被選挙権の有無及び兼業禁止に抵触するかどうかというようなことを、議員の皆様がほかの所属議員に対して質問をされるといいますか、そういう決定を求められるというような内容でございます。当組合の議会におきましては、所属市町村議会から選出されている方ばかりであるということ、この件についてはそれぞれの所属市町村議会において判断されていることであるということから、規定しないということにさせていただいております。次の１０８条、資格決定の審査、それからページめくっていただきまして、４２ページに載せております、決定書の交付につきましても、それぞれこの資格決定の要求を受けての規定であることから、併せて必要がないというふうに判断して、案をつくらせていただいております。以上でございます。

○今城委員長　説明は終わりました。資格決定の、まず要求というところが、既に各議員の所属の議会からの選出であるということを踏まえて必要ないということを踏まえ、関連のものも全て規定しないという説明でございます。皆様の御意見をお願いいたします。

〔「いいと思います」と声あり〕

○今城委員長　はい。それでは、この件も原案のとおりというふうにさせていただきます。続きまして、携帯品の件につきましてお願いします。針田書記長。

○針田書記長　全部改正の４２ページを御覧ください。こちら、米子市の規則とほぼほぼそのままにしております。実は組合議会、まあ常々御参加いただいていて御理解いただいていると思いますが、組合議会には議員控室がございません。それで持って入られ、着用・携帯してはならないというようなことを規定いたしますと、別室で職員が携帯品をお預かりするというような管理をする必要が出てまいりますが、それも実際問題としてはなかなか困難でございます。そこで、携帯についてということはことさら規定しないということで、そのまま持って入っていただいて、携帯してはならないという項目は規定しないという案をつくらせ

ていただいております。それで、米子市の規定に載っております、つえの取扱いでございますが、構成市町村議会の全ての会議規則を確認させていただきましたところ、いずれも、帽子、コート、マフラー、つえ、傘の類を着用し、または携帯してはならないという規定になっております。ですが、障がい者及び高齢者等、日常的につえが必要な方への配慮として、全国的には、このつえを着用または携帯禁止という列記の項目から削除するという方向に進んでいるところも幾つかございます。で、組合としましては、このたび新たに会議規則を設けるということをもちまして、このつえは削除した形で、着用してはならないものの列記としては、帽子、コート、マフラー、傘の類ということにさせていただいたという案で御用意をさせていただきました。携帯についても規定を外させていただいております。以上でございます。

○今城委員長　携帯品についての件につきまして、皆さん、御意見を頂戴したいと思います。

〔「いいと思います」と声あり〕

○今城委員長　つえの件ですが、他の構成市町村にはいまだにつえの件は検討がなされておりませんが、先行する形で当組合議会として、しっかりとその辺りは配慮しているという形で行いたいと思いますので、この件は御了承いただけますでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○今城委員長　よろしくお願いいたします。そうしますと、次の「出席停止の期間」の件について説明をお願いいたします。

○針田書記長　はい。

○今城委員長　針田書記長。

○針田書記長　資料の４４ページをお願いいたします。出席停止の期間ということでございます。これは現在、米子市及び境港市は５日、それ以外の町村は７日と規定されております。出席停止は次の会期に持ち越さないという行政実例がございますので、現状の会期が１日である組合議会において、米子市、境港市、もしくは町村さんの例によって５日ですとか、７日というような規定をするということはあまり現実的ではないというふうに考慮をいたしました。そこで、では現状の会期が１日であるからということで１日というふうな規定をいたしますと、今度は１日を超えることができないということをわざわざ定めるのがどうか、というような問題もまた出てまいりますし。出席停止の期間というものは、自治法で懲罰の一つとして、一定期間の出席停止という規定がございますので、規定しないということもあまり適当であるとは考えられないということがございますので、今後いろいろな問題がある中で、会期が２

日以上になるという想定もございますことから、２日を超えないというふうな案をつくらせていただいております。で、関連がございますので次の４４ページに記載部分、出席停止期間内に出席したときの措置でございますが、こちらは前条の規定を受けての措置ということでございますので、米子市規則に準じて規定する案をつくらせていただきました。以上でございます。

○今城委員長　出席停止の期間について、独自規定として２日という案をつくらせていただいております。皆様いかがでしょうか。

〔「はい、いいです」と声あり〕

○今城委員長　では、関連している期間内に出席したときの措置も同じようにさせていただきたいと思いますので､よろしくお願いいたします。続きまして、協議の場についてのところの説明をお願いいたします。

○針田書記長　はい。

○今城委員長　針田書記長。

○針田書記長　全体の資料では４７ページでございます。現行の組合の全員協議会は、法的根拠のない任意の会となっております。米子市以外の構成市町村議会におきましては、全員協議会は自治法第１００条第１２項の規定に基づくものとされております。また、米子市議会においても、全員協議会の取扱いについては現在検討をなさっているというふうにも伺っておりますので、組合といたしましては、自治法第１００条第１２項の規定に基づく正規の協議の場ということで全員協議会の設置をさせていただくというのはどうか、ということで御用意させていただいたものでございます。条文につきましては米子市と違いますので、標準議会会議規則を参考に規定させていただいております。続きまして２項ですが、米子市の例によっております、協議の場というのは、別表のとおりという形で定められておりますので、１項目、全員協議会しか規定をしないということで、２項で議会の全員で構成し議長が招集するということで、構成員と招集権者につきまして、これも標準議会会議規則を参考に規定案をつくらせていただいております。続きまして、米子の２項・３項、前項規定によるほか、という規定でございますが、こちらは全員協議会以外の協議、または調整を行う場を設ける必要は特にないのではないかというふうに考えまして、現在規定しないということで案をつくらせていただきました。３項につきましても２項を受けての規定であるということで同様に、規定しないということで御用意させていただいております。はぐっていただきまして、５ページでございますが、米子市の規則の４項、協議等の場の運営といいますのが、今回、組合では全員協議会しかないという案を御用意させていただいておりますので、

全員協議会の運営その他必要な事項は議長が別に定める、というふうに規定をいたしまして、こちらも標準議会会議規則を参考に規定させていただいているところでございます。説明は以上です。

○今城委員長　説明は終わりました。全員協議会の設置ということで、新たにこの全員協議会の位置づけをきちっとした上で、構成員そしてそれ以外の必要な事項についての定めをするところでございます。御意見ございましたら、どうぞお願いいたします。

〔「いいと思います」と声あり〕

○今城委員長　ありがとうございます。そういたしますと、独自規定を設けるというところについては、全て御協議いただきまして、組合議会会議規則の規定案というところで皆さん了承をいただきました。そうしましたらこの形で盛り込みまして、全部改正というところに向かっていきたいというふうに思っておりますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○今城委員長　では、この形で担当に提案をつくらせるように進んでいきたいと思います。そして、今後の予定についてでございます。先ほど戸田委員さんから、１１月に議員発議ということで議会に提案してはどうかというお話もございましたが、こちらのほうで丁寧に進めさせていただくということを踏まえて、日程的なことを少し準備をさせていただきましたのが、本日の改正についての書面の下のほうに作っておりますので、取りあえず担当のほうに説明をさせます。

○針田書記長　はい。

○今城委員長　針田書記長。

○針田書記長　そうしますと、一枚ものの会議規則の改正についての３項を御覧いただきますようお願いいたします。この規則改正にかかります今後の議会運営委員会の予定でございますが、今御確認をいただきました５ページものの規定案を、全部改正のほうに入れ込みまして、そうすると中に入りますので、若干の条ずれその他が起きてまいりますが、それを踏まえて新たな組合議会会議規則の案というものを、１１月２５日の定例会前の議運で検討をいただきたいと思います。そこで御提示をさせていただきます。それで、お持ち帰りいただきまして、御意見等承りまして、御意見等を承ったものを取りまとめた上で、今度まだ日程は決まっておりませんが、来年１月の臨時会の時点の議運におきまして成案をお示ししたいと考えております。そこで御検討をいただきまして、問題がないということですと、それをもって２月の定例会のときに議員発議として提案をいただきたいと思いますので、定例会前の議運におきまして、きちんと最終的な議案の確認をお願いしたいと思います。以上

でございます。
○今城委員長　スケジュール的なものをこちらで考えておりますのは、今説明いただいたとおりでございます。戸田委員さんから、１１月発議をしてもいいのではないかという御意見を頂戴しまして、そのスケジュールでいきますと、これから成案も全部改正としての成案をつくらせました上で、１１月２５日の最初の議会運営委員会には、これで本日提案をいたします、というものにしたもので御確認いただくということになっていきますので。それまでの間に皆様の御意見や、それか、このような文面になりましたというものを作ったものを、それまでに御確認をいただいた上で､これでいきます､ということも確認していただいた上で、１１月２５日の初めの会議前のところでは、これで全文として提案します、ということまでしていかないと、ここでの議員発議はちょっとできないのかなというふうにも思っております。そうしますと結局、皆様でこうやって協議いただいて確認いただくという場がないまま、持ち回りですとか書面での確認というだけになってしまうかなというふうに思いまして、ちょっと私としては雑に皆様にお願いすることになるかなとも思っているのですが、皆様の御意見を頂戴した上で、それに向けて動きたいと思います。
○戸田委員　委員長。
○今城委員長　戸田委員。
○戸田委員　担当は大変かもしれませんけど、成案をつくっていただいて、早急に。で、持ち回りで歩いて説明をされて、例えば１週間なら１週間以内にまた協議があれば、またフィードバックしてくださいというような話をして、今、委員長がおっしゃったように、１１月２５日の議運を例えば３０分前に早めて議運を開いて、その２５日の本議会に議員発議していくというような、私はそのやり方がいいんじゃないかなあと思うんですけどね。早く、こういうふうな大きな改正は迅速に対応したほうが私はいいと思うんですけど、いかがなもんでしょうかね。
○今城委員長　皆様の御意見を。
○山本委員　はい、委員長。
○今城委員長　山本委員。
○山本委員　先ほど､最初にありました専決の件､それも併せてですか。
○今城委員長　あれは会議規則という…。
○山本委員　規則ですから、会議にはかからないんですか。
○針田書記長　はい。
○今城委員長　針田書記長。
○針田書記長　あれは組合議会として管理者に委任をするというもので

ございますので、当然、議決案件でございます。議運で提案をしていただいて、要は議会としてこれだけのことは管理者にさせてもいいではないか、という内容を御確認いただきますものですから、議決要件ではありますが、この会議規則と直接の関係はございません。

○山本委員　分けて考えていいということですね。

○針田書記長　はい。

（「規定の整備ですからね。」と戸田委員）

○今城委員長　あ、戸田委員。よろしいですか。はい。そうしますと、私の今日の専決処分の件の説明からいきますと、一旦持ち帰りをしていただいて、この件について次回のときに、説明いただいたこの内容についてもう一度きちんと確認を、確認してもらう事項も今日ありましたので、確認した上で協議をいただいてという運びになっておりますので、１１月にこの専決処分についての発議は当然できない、しないということが前提になると思っております。ただし、今、戸田委員さんから御提案いただきました、この会議規則の全部改正については、これまで皆様で協議していただいた上で、独自で検討しなければならないというものも今日決定をしていただいたということを踏まえますと、ちょっと時間的にはタイトではありますが、皆様の御確認をいただいて持ち回り、または書面でということ。また、御意見は担当のほうにいただいて、また何か変更等があれば書面で、というようなことをこの間にやり取りをするということができましたら、それで皆様がいいということでしたら１１月発議はできるのかなとも思いますが。ちょっと丁寧ではないというところがちょっと気になるとことで。そこについては皆様の御意見を頂戴してやりたいなというふうに思いますので、皆様にちょっと大変なことをしていただくことになるなというふうに思っております。

○米本委員　いいですか。

○今城委員長　米本委員。

○米本委員　私まあ今、ざっとといいますか、担当のほうが、ここのところはちょっと問題点があるんじゃないかということは見させてもらったんですが、やはり一応、全文をきちっと目を通さないと、やっぱりその後で例えば何か変更点があったときに、書面だけで、ここ直してくださいって皆さんにまた通知してやることがいいのかなと。それとも一回集まったときに話をして、ここ変更しましょうというのがいいのかなというのは、ちょっと私もよく分からんところはあるんですけど。でも、やはり変更するんであれば議運のほうでしっかり、おかしいところはおかしいということは話し合う時間は欲しいですね。

○今城委員長　はい、そうですね。

○足田委員　はい。

○今城委員長　足田委員。

○足田委員　私もそれに近いんですけど、やっぱり一応それぞれ意見、資料をもらって、それでしっかり検討した上で、少しでも何かおかしいことがあれば、それまでに１回集まって検討してもいいかなというふうには思います。やっぱり皆さんじっくり検討することが大前提だと思うんで、それはしっかりやっていきたいと思います。

○今城委員長　はい分かりました。山本委員さん。

○山本委員　それこそ担当が間に合えば、早いほうがいいと思いますが、もう担当次第だと私は思っていまして。はい。準備ができれば、早く提案があってもしかるべきだと思います。

○今城委員長　はい、分かりました。 今お二人が、丁寧な形でやはり一度きちっと協議をして、皆さん合意した上でというお話もありまして、担当のスケジュール感的なこと、それから、早いほうがいいっていう御意見がありました。私は、当初の予定として１１月ということをお願いしておったところなんですけれども、やはり全部改正というふうに向かっていくということを決めていただきましたことを踏まえて、丁寧な形がやっぱりいいかなと思っておりますので。担当の負担量ということよりも、むしろ足田委員さんがおっしゃったような、きちんとした形で丁寧にやっていくということについて、やるほうがいいのではないかなと思いますが、戸田委員さんいかがでしょうか。

○戸田委員　委員長。

○今城委員長　戸田委員。

○戸田委員　私の言葉でね、きちんと丁寧に…。今、現実もきちっと丁寧にやっとるわけですよ。私たち持ち帰って一生懸命見て、それに新旧対照を見ながら、今後どうあるべきかということを私たちもしんしゃくしとるわけですよね。私はそういう、自分自身はそう思っていますので。ただ、不備がある中で、今の機能がしてないじゃないかという皆さんの意見があったんです。私、そういうことを気にしておるんですよ。だけん、改めるなら早く改めて、きちっと機能が迅速に対応できるような体制をしていくのが、私たちの使命じゃないかなと私は思っておるんです。そういうことから私は、できる限り、今までずっと、言葉は適切でないかもしれませんが、放置してるかどうか分かりませんけれども、やはりそういうふうな不備が見つかった時点では、きちっと対応を迅速に図っていくのが全てだろうなと。私はそういうふうに思っておるんです。

（「委員長にお任せします」と声あり）

○今城委員長　承知いたしました。じゃあ、ちょっと一つ。担当として

はいかがでしょうか。スケジュール感的なものを含めて。針田書記長。

○針田書記長　実際問題としてですね、今、一応法制担当にも、形としてこれは議員発議ですので、当局側の法制は本来関係ございませんが、事務協議という形でいろいろ検討願っているというところではございます。そちらの兼ね合いもございますので、正直ちょっとお返事に困るところもございますが、やれ、ということでしたら、担当としては、やらせていただきますので、ということでございます。

（「委員長一任」と声あり）

○今城委員長　はい。では、承知いたしました。そうしましたら、やはり丁寧なというのが一番最初からの考え方ではありましたし、このたびきちんとした形で御協議をいただいた上で、できたものを胸を張って出していきたいかなというふうに思いますので。では、大変時間がたって、このことだけでもほぼ１年かけるのかっていう話にもなるんですが。きちんとした形で２月の発議という準備でいかせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。この間に何か不都合などが起こらないように、お気づきになりました点などはどんどんおっしゃってくだされればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。では、そうしましたら本日の予定は以上でございますが、委員の皆様から何かございましたらお願いいたします。

〔「ありません」と声あり〕

○今城委員長　よろしいでしょうか。はい。議長、副議長からございましたら。

〔「ございません」と声あり〕

～～～～～～～～～～～

３　閉　　会

○今城委員長　それでは、これをもちまして、議会運営委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

午後３時１８分閉会

鳥取県西部広域行政管理組合議会委員会条例第２９条第１項の規定により署名する。

議会運営臨時委員長　　戸田　隆次

議会運営委員長　　今城　雅子